

# 21世紀へ



7月に行われた富士市青少年の船で21世紀を担う若者は語り合った

昭和四十一年にできた新生富士市は、こ  
として二十歳を迎えました。ひとくちに二  
十年と言ってもその道のりは決して平たん  
なものではありませんでした。しかし、公  
害問題、石油危機などのハードルを乗り越  
えて足腰の強い青年工業都市となった今、  
富士山をシンボルに新たな目標に向かって  
はばたこうとしています。

## 県東部の中核都市へ

今の富士市は、吉原市、富士市  
鷹岡町の旧二市一町が合併して昭  
和四十一年十一月一日に産声をあ  
げました。

当時のまちは、面積二百十五  
・三四平方キロメートル、人口は  
十六万四千九百三十二人、世帯数  
は三万七千七百七十六世帯で、人  
口は県内五番目でした。

合併までの経過は決して容易な  
ものではありませんでしたが、古  
くから岳南地区の一員として、政  
治、経済、文化、交通など、あら  
ゆる面で密接な関係にあった二市  
一町が大同団結をしました。

それから二十年。二十歳となっ  
た富士市は、着実な歩みで将来に  
大きな可能性を秘めた青年工業都  
市に成長しました。

昭和六十一年九月一日現在、人  
口は合併時より約五万三千人ふえ  
て二十一万七千九百十八人、世帯

## 統計で見る富士市

	昭和41年	昭和61年	昭和70年(予想)
人口	16万4,932人	21万7,918人	23万1,600人
世帯数	3万7,776世帯	6万2,091世帯	7万1,700世帯
1世帯当たり人員	4.37人	3.50人	3.23人
高齢人口構成比	4.9%(40年)	8.4%	11.3%
市一般会計当初予算	37億7,260万円(42年)	503億円	——
工業出荷額	1,811億円	1兆4,245億円(60年)	2兆1,450億円
商業販売額	550億円	5,656億円(60年)	9,350億円
農道整備	——	9万9,153延(60年)	15万1,000延
1人当たり都市公園面積	0.5平方延	4.4平方延	5.8平方延
下水道普及率	0%(40年度末)	29.9%(60年)	51%
小学校の数	17校	22校	23校
公民館の数	4館	20館	22館
多くつけられた名前(男)	1位 カズヒロ	1位 ユウキ (60年)	——
"	2位 ヒロユキ	2位 ユウスケ (60年)	——
"	3位 ヨシヒロ	3位 ユウタ (60年)	——
" (女)	1位 ヒロミ	1位 ユキ (60年)	——
"	2位 マユミ	2位 カオリ (60年)	——
"	3位 ヨウコ	3位 ユカ (60年)	——

20歳の富士市

# 21世

数は約二万四千世帯ふえ、六万二千九十一世帯となりました。人口では県東部一の都市となり、文字どおり中核都市として重要な役割を果たしてきています。

工業は、地場産業の紙・パルプを中心に、自動車、電気製品、化学、薬品工業などで、製造品出荷額等は、一兆四千二百四十五億円(昭和六十年)に達しています。これは、浜松市に次いで県内第二位です。

一方、商業は、昭和六十年の販売額が五千六百五十六億円で、合併時に比べて約十倍に伸びました。

### 公害等諸問題も克服

しかし、富士市も二十年間すべてが順調に進んできたわけではありません。

昭和四十年代から顕著に見られた、田子の浦港のヘドロや大気汚染などの公害は市民の皆さんの記憶に焼きついていると思います。

また、富士・愛鷹山麓の開発問題は、自然保護や災害防止の面から重要な問題でした。

加えて発生したオイルショックは、富士市の産業にも大きな影響を与えましたが、市民の皆さんの努力でこれらの諸問題を乗り越え、「生産と生活が調和する産業文化都市」づくりが進められました。

その結果、道路・河川・下水道・公園などの生活環境整備、及び医療・福祉・教育・文化・スポーツ施設など、二十二万都市として必要とされる都市機能の整備も着

実に推進されました。

### 新たなまちづくりを推進

そして、今年、「ふじ二十一世紀プラン」がスタート。「富士山をシンボルに みどりあふれる文化と産業のまち」を都市像として掲げています。

これは、予想される東海地震へ

の対策、緑化と都市環境保全の問題、新幹線新駅の設置、大学の誘致、また、やがて来る高齢化社会・高度情報化社会への準備など、二十一世紀を展望して新たな対応をするものです。

富士市は今、二十周年を契機に、明るく豊かで住みよいまちの建設を目指して新たなステップをしようとしています。

## おめでどう 二十歳のわが街

### 市章のとおり順調に発展



鳥居定夫さん(六十四歳)下横割南



鳥居さんは昭和四十二年、市章の一般公募に応募し、いまの市章を考え出しました。

「私は全くの素人ですので、当選するなんて、夢にも思っておりません。同窓会などでは、私の顔を見ると市章を思い出すという人もいまだにいます。富士市は市章のいわれのとおり順調な発展をし、一市民として大変うれしく思っています。青年都市富士市にこれからも期待しています。」

### 富士市の大きさにびっくり

佐野さゆりさん(二十三歳)鷹岡本町一



さゆりさんは「物心ついたときには富士市民」というOL。「先日富士登山をして、富士山の大きさもさることながら、富士市の大きさにもびっくり。私たちはすばらしい自然環境のもとにいますね。できれば、富士の商店街がもう少しファッショナブルになるといいな。そうすれば、若者にとって、もっと楽しいまちになると思います。」